

資本主義の多様性

第11回 比較政治経済分析

資本主義の進化

- Andrew Shonfield, *Modern Capitalism*, 1965, Oxford UP
- 経済への政府介入
- 政府による長期計画
- 政府権力と大企業が長期的な経済の発展に貢献する
- ケインズ主義的マクロ経済管理を超える政府介入
- モデルとしてのフランス
- アメリカ・イギリスとの対比

資本主義の多様性論へ

- 比較政治経済体制論
 - Peter Katzenstein, Small States in World Markets, 1984 Cornell UP.
 - John Zysman, Governments, Markets, and Growth: Financial Systems and Politics of Industrial Change, 1983, Cornell UP
- Structure of business relations
 - 企業間・金融
- Structure of government relations
 - 政府・企業・労働
- Structure of industrial relations（労使関係）

3つの資本主義

- Liberalism 市場指向型自由主義
 - アングロサクソン
- Corporatism コーポラティズム
 - ヨーロッパ小国・（ドイツ）
- Statism 国家主導型資本主義
 - フランス・日本

Liberalism

- Market capitalism
- 競争的企業間関係－契約ベース arm's length relations
- 資本市場における直接金融 短期重視
- 政府企業関係 ルール設定と裁定者としての政府
- アドホックな政府介入 投資減税など
- 労使関係 政府非介入・分権的賃金交渉

Corporatism

- Managed capitalism
- 企業間関係は相互強化的 情報・戦略共有、ネットワーク形成
- 企業金融はネットワークベース、銀行融資 長期的視点（市場シェア・企業価値重視）
- 政府・企業関係 交渉ベース・企業間ネットワークを促進
- 協調的労使関係

Statism

- State capitalism
- 企業間関係は政府に媒介されるが、そうでないときは競争的（株式の相互保有の場合は協調的）
- 企業金融は政府主導 国民経済的視点（短期的利益でも企業価値でもない）
- 政府企業関係は、政府主導で緊密。経済計画、産業政策、国有企業
- 労使関係も政府主導。政府労働関係は遠い。経営と労働の関係は敵対的。

コーポラティズムの歴史的発展

- 巨大労使頂上団体による交渉・政策決定過程への制度的参加
- コーポラティズムの起源
- ヨーロッパの小国・開放経済 → 産業集中・特化 → 組織化
- 貿易依存と脆弱な封建制→保守派の弱さ
- 社会的パートナーシップ(労使協調)
- 比例代表制
- (Katzenstein, 1984)

焦点としての労働組合

- 労働者の利益と労働組合
- カルテルとしての労働組合
 - 久米郁男『労働政治』2005年、中公新書
- マンカー・オルソンにとってのスウェーデンの謎
 - M.Olson, How Bright are the Northern Lights(1990)
 - 個別的利益団体と包括的利益団体
 - 労働組合組織率とレント・システムと労働組合の強さ
 - 労働保険などが組合によって運営される

ハンブ・シェイプ(こぶ型)理論

- 労働組合の集権度とパフォーマンス

労働組合	分権的	産業レベルで集権	集権的
経済パフォーマンス	良好	悪い	良好

賃金交渉における集合行為問題
低インフレ・低失業

Calmfors & Driffil, “Bargaining Structure, Corporatism and Macroeconomic Performance”,
Economic Policy 1988.

- 集権的組合における民間組合の覇権の重要性
 - Garrett & Way, "Public Sector Unions, Corporatism, and Macroeconomic Performance," *Comparative Political Studies*, 1999
- 政権政党と労働組合の組み合わせと経済パフォーマンス (Garrett)
 - 右派政党＋分権的労組＝自由市場主義
 - 左派政党＋集権的労組＝福祉資本主義

グローバル化と3つの資本主義

- Vivien Schmidt, “Still Three Models of Capitalism? The Dynamics of Economic Adjustment in Britain, Germany, and France,” 2020.

https://www.researchgate.net/publication/290895203_Still_Three_Models_of_Capitalism_The_Dynamics_of_Economic_Adjustment_in_Britain_Germany_and_France

- グローバル化とヨーロッパ統合を経て、Liberalismはより純化し、Corporatismは金融産業や通信では自由化したものの managed capitalismを維持。Statismは、国家の介入度合いを弱めつつ存続？

資本主義の多様性論

- Peter A. Hall and David Soskice, *Varieties of Capitalism: The Institutional Foundations of Comparative Advantage*, 2001, Oxford UP
- 自由市場経済 LMEs (liberal market economies)
- 調整型市場経済 CMEs (coordinated market economies)

ディスカッション

- 会社は誰のものか？

資本主義の多様性論

- 自由市場経済 LMEs (liberal market economies)
 - 株主主権
 - 労使関係 分権的
 - 直接金融 (市場型)
 - 一般技能・ポータブルな技能
 - 雇用流動性・柔軟な労働市場

資本主義の多様性論

- 調整型市場経済 CMEs(coordinated market economies)
 - ステークホルダー（関係者）資本主義
 - 労使関係集権的＝協調
 - 間接金融（相対関係型）
 - 特殊技能形成
 - 雇用保障

福祉国家と資本主義の関係

- 自由主義レジーム（残余型福祉国家）
 - 自由主義市場経済
 - アングロサクソン
- 保守主義レジーム/社民レジーム
 - 調整型市場経済
 - ヨーロッパ